

第 11 期施設等整備事業計画

令和 7 年 3 月

寝屋川市上下水道局

目 次

1	はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	第 11 期施設等整備事業計画・・・・・・	1
3	施設等整備事業計画の沿革・・・・・・・・	3

参 考

施設等整備事業計画（年度別計画表）・・・・・・	4
送・配水管布設工事年度別明細・・・・・・・・・・	5

※図 面（別添）

1 はじめに

上下水道局では、給水人口の減少や節水型社会への移行等により配水量が減少し続けていることや、高度経済成長期に整備した水道施設が更新時期を迎えていることを踏まえ、安全で良質な水道水を将来にわたって安定的に供給し続けるため、寝屋川市水道ビジョン及び水道事業経営戦略において水道事業の長期的な方向を示し、これに基づき施設等整備事業計画を定め、水道施設の整備や水道管路の更新に取り組んできました。

また、令和2年度から令和7年度を計画期間とする第10期施設等整備事業計画においては、経年化対策を中心とする管路更新を実施してきましたが、昨今多発している地震災害や発生確率が高まっているとされる南海トラフ地震による災害対応も踏まえ、国の方針に基づき、災害に強く持続可能な上下水道システムの構築に向け、対策が必要な重要施設を最優先に耐震化を実施していくこととしたため、計画を1年前倒しし、新たに令和7年度を初年度とする第11期施設等整備事業計画を策定しましたが、今後、上下水道経営戦略における方向性を踏まえて計画の見直しを図る場合があります。

2 第11期施設等整備事業計画

経営基盤の健全性維持と必要な整備・更新事業の実施との両立を目指し、災害発生時においても避難所等優先度の高い重要施設への水道水を供給可能とする管路の耐震化を重点的に取り組み、第11期施設等整備事業計画を着実に推進し、水道管路強化に努めます。

事業期間	自 令和7年4月1日
	至 令和12年3月31日

総事業費	6,214,808 千円
------	--------------

○水道管路

第 11 期施設等整備事業計画では、経営戦略に基づき、中長期の更新需要・財政収支見通しに基づく計画的な管路の耐震化を行い、重要施設管路の耐震化について重点的に取り組むこととし、災害に強い管路網の構築を図ります。

計画延長合計

L = 8, 639m

消火栓設置工事 35 基

○水道施設

過年度において配水場・配水池など水道施設の更新及び耐震補強工事を推進したことで、平成 30 年度末に水道施設の耐震化率 100% を達成しています。第 11 期施設等整備事業計画においても、配水施設のポンプ設備をはじめ電気・計装設備についてアセットマネジメントの結果や配水量の推移を考慮したうえで、設備の更新を図るとともに規模の適正化を図ります。

3 施設等整備事業の沿革

	期 間	当初計画額 (百万円)	実績額 (百万円)
第 1 期	昭和 51 年度～昭和 55 年度	1, 250	1, 178
第 2 期	昭和 56 年度～昭和 60 年度	1, 400	1, 400
第 3 期	昭和 61 年度～平成 2 年度	1, 500	1, 197
第 4 期	平成 3 年度～平成 7 年度	1, 200	1, 146
第 5 期	平成 8 年度～平成 12 年度	1, 880	1, 646
第 6 期	平成 13 年度～平成 17 年度	2, 525	1, 748
第 7 期	平成 18 年度～平成 22 年度	3, 480	1, 853
第 8 期	平成 23 年度～平成 27 年度	5, 728	4, 696
第 9 期	平成 28 年度～令和元年度	4, 925	3, 382
第 10 期	令和 2 年度～令和 6 年度	7, 356	※5, 271
第 11 期	令和 7 年度～令和 11 年度	6, 215	

※令和 6 年度の実績額は計画値を採用